

令和6年度使用小学校用教科用図書の採択理由

		採択地区名
		安芸郡
種 目	発行者	採 択 理 由
国 語	光村	巻頭や単元の初めには、第2学年以上の学年で同一の「学習の進め方」が示されている。そこには、前学年での学習内容や、学年が変わっても同じように学習を進めていくことが視覚的に表されており、既習事項を生かしながらか見通しをもって学習を進める手立てとなっている。また、単元の終わりの「ふりかえろう」では、単元での学びを振り返るポイントが示されており、言語による見方・考え方を実生活のどんな場面で生かせるか考えることができるようになっている。さらに、本の紹介について、書籍のタイトルを示すだけでなく、言語活動が示され、本の紹介が簡単なあらすじとともに掲載されたり、1冊の本の内容が掲載されたりしている。
書 写	光村	姿勢、点画の書き方、用具の扱い方などが、説明だけでなく写真や二次元コードにより分かりやすく示されている。点画の書き方では、穂先の動きとともに、始筆や終筆、おれやはらい等の書き方が具体的に示されており、基礎・基本の定着を図るための記述がある。巻頭には「学習の進め方」を示し、課題解決的な学習を実施するとともに、「たいせつ」を示し、学習したことについて確かめる場面を設けている。また、「書写広げたい」のページで、学習内容と各教科等や日常生活との関わりについて示され、書写で学習したことを日常生活に生かすことが期待できる。
社 会	東書	キャラクターを用いて社会的な見方・考え方を働かせる4つの観点・方法を示しており、深い学びとなるための構成上の工夫が見られる。また、「学習の進め方」のページを設け、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という学習過程とともに、どのようなことをするのかを示しており、課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫がなされている。さらに、各都道府県の特産物や地形等と日本地図を関連させて示したり、世界文化遺産を写真で紹介したりすることにより、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てることが期待できる。
地 図	帝国	「地図のやくそく」「地図帳の使い方」において、方位、地図記号、索引の使い方、距離と縮尺など地図の見方や地図帳の活用方法についてわかりやすく整理されている。また、「持続可能な開発目標（SDGs）」において、SDGsの17の目標の背景にある課題を説明するイラストを掲載するなど主体的に学習に取り組むための興味・関心を高める工夫がなされている。さらに、「田」「建物が密集しているところ」「公園や緑地」などの凡例に色に加えて地紋を入れており、色覚特性のある児童にも配慮されている。

算 数	東書	単元の目標を達成するために、例えば、第3学年「除法」では、具体的な場面と関連付けながら、式の意味の理解を深める問いや考え方が工夫されている。また、各学年の実態に応じて、デジタルコンテンツの内容や数が工夫されており、児童が興味・関心をもち、主体的に学習に取り組むことができる。さらに、言語活動として、数学的な表現を用いて自分の考えを説明する活動の工夫や思考を深めるために書く活動が重視されている。
理 科	東書	単元導入では見開きの写真や資料で課題発見を促したり、観察・実験では予想表記ができる工夫がされたりしており、児童が課題意識をもって主体的に学習に取り組むことにつながっている。また、単元末には既習事項の確認や発展的な学習につながる記述、デジタルコンテンツが充実しており、基礎・基本の定着を図ることにつながっている。さらに、写真、イラスト、モデル図、二次元コードなど複数の資料を使用しており、観察・実験のまとめや振り返りを自ら考える手立てとなっている。
生 活	東書	校庭や町、公園の四季の変化を対比させたページがあり、自分と身近な人々、社会及び自然との関わりに関心をもつための工夫が見られ、基礎・基本の定着を図ることができる。また、観察カードは、学習段階に合わせた例示があり、第1学年で書き方やポイントが分かりやすく示されることにより、観察の仕方が習得でき課題発見・解決学習につながる。さらに、スタートカリキュラムに合わせた「どきどきわくわく1ねんせい」は、写真及び二次元コードによる動画で示され、児童や保護者が安心して入門期を過ごせるよう、幼児期との接続を意識した内容構成の工夫がある。
音 楽	教芸	「ふり返りのページ」において、各学年で学習した音楽を形づくっている要素を関連するページ番号とともに示しており、各学年で学習した内容の指導を充実させるための工夫がなされている。また、児童の興味・関心を高めるために、例えば、器楽であるリコーダー学習の導入では、「ヘッドピースで音あそび」を取り入れたり、タンギングの息の使い方では、紙を使った学習方法を掲載したりするなどの工夫が見られる。さらに、我が国の音楽に関する内容が充実しているため、我が国の音楽に対して、親しみや愛情を育むことができる。
図画工作	日文	材料や用具の取り扱い等の定着を図るために、例えば、二次元コード「用具・360°」等の説明や動画の工夫があり、基礎・基本の定着を図ることができる。また、表現の題材に鑑賞の視点を示すとともに、関連する題材を連続して配置することで、表現と鑑賞との関連を図った学習活動の工夫がなされている。さらに、美術作品が複数印刷された、「アート・カードをたのしもう」などで、身近な作品・我が国や諸外国の親しみのある美術作品等や生活の中の造形の取扱いに、主体的に取り組むための工夫が見られ

		る。
家 庭	東書	めあてが小單元ごとに示されており、各授業時間において本時の見通しやつけたい力を児童と共有することができ、主体的に取り組むことにつながっている。また、包丁の使い方など技能面において原寸大の写真、色で区別された折れ線グラフなどの資料においてユニバーサルデザインに関する配慮がなされている。さらに、単元の最後に児童の思考に沿って生活をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする学習活動が設定されており、学習したことを深めたり日常生活に生かしたりする言語活動が充実している。
保 健	学研	基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るために、単元の目標の示し方が、項目ごとに「学習の課題」として質問形式の提示となっている。実習に関する記述は、例をイラストと言葉で示し、具体的に理解できるようになっている。また、学習の見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫がされており、自己の思考を広げたり深めたりするなど、知識や経験に照らして自分の考えを記入する活動が充実している。さらに、発展的な学習に関する内容として、現代的な健康に関する課題などが記載されている。
英 語	東書	各単元の冒頭に「Our Goal」として学習目標を示し、さらに育成を目指す資質・能力ごとに、細かな目標を設定することで、確実な基礎・基本の定着を図ることができる。また、2 学年共通した別冊資料「My Picture Dictionary」により、単語や重要な対話文について確認したり調べたりすることができ、学習内容との適切な関連付けを行うことができる。さらに、「話すこと（やり取り）」の領域における言語活動が充実しており、「Small Talk」等にて内容の構成・配列の工夫が見られ、児童の主体的な学習につなげることができる。
道 徳	東書	各教材文の終わりに中心発問と自己を見つめる発問の2つを示しており、自己の生き方について考えを深め、授業のねらいに迫ることができる。また、第4 学年以上に設けている心情円、全学年に「考えるためのツール」、二次元コードを示すことで自己の考えを深めるための手立てが充実している。さらに、巻頭に話し合いの例や話し合う様子をイラストとともに具体的に示しており、考え議論する道徳の学習を進める工夫がされている。